



2021年7月30日

各 位

会 社 名 千代田化工建設株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山東 理二  
(コード番号 6366 東証第二部)  
問合せ先 主計部長 秋山 卓  
(TEL 045-225-7281)

### 特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第1四半期において、豪州イクシス LNG プロジェクトに関わる協議・仲裁に関連して特別損失を計上することと致しました。これにより、2021年5月7日に公表した2022年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正致しましたのでお知らせ致します。

なお、今回の特別損失の計上は、過去の案件に起因する不確実性を取り除くことにより、キャッシュフローや損益を安定化させ、懸案事項の早期解決を図るものです。これにより、当社の経営資源を遂行中案件や将来事業に集中投入し、再生計画の着実な遂行を図ってまいります。

#### 記

##### 1. 特別損失の計上について

当社グループと日揮ホールディングス(株)及び米国 KBR 社で設立したジョイントベンチャー(JKC)は、2012年に豪州 Ichthys LNG Pty Ltd(顧客)から液化天然ガス等生産設備にかかわる設計・調達・建設役務(本プロジェクト)を受注、プラント設備の引き渡しも既に完了し、顧客は2018年10月に液化天然ガスの生産・出荷を開始しています。

一方で、本プロジェクトの契約金額の調整及び精算金額の範囲について、JKCは顧客と協議・仲裁を継続しています。

しかしながら、コロナ禍もあって仲裁の更なる長期化が懸念されることから、今後予見される係争関連費用の益々の積み上がりや、大きな振れ幅のある仲裁・裁判結果を最終裁定・判決まで長期間に渡り追求するリスク等につき、当社としても再検討してまいりました。

顧客との協議は依然続いておりますが、足元の協議状況を踏まえ、リスクを改めて評価した結果、2022年3月期第1四半期に204億円を特別損失として計上することと致しました。

今回の特別損失の計上に伴うキャッシュアウトはありません。

## 2. 通期業績予想の修正について

### (1) 2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 300,000	百万円 11,000	百万円 9,000	百万円 6,000	円 銭 15.06
今回修正予想(B)	300,000	11,000	9,000	△14,000	△62.17
増減額(B-A)	0	0	0	△20,000	-
増減率(%)	0	0	0	-	-
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	315,393	7,015	8,462	7,993	22.76

### (2) 通期連結業績予想修正の理由

上記1の特別損失を計上したことにより、2022年3月期親会社株主に帰属する当期純利益は、200億円減の△140億円になる見込みです。売上高、営業利益、経常利益に変更はありません。

今後の顧客との交渉の進捗により当社決算に大きな影響が生じることが予想される際は、速やかに開示致します。

### (注) 見通しに関する注意事項

この資料に記載されている業績見通しは、種々の前提に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。従いまして、これらの見通しのみに依拠した判断をされることは控えるようお願い致します。

以 上